科目コード	科　目　名	担　当　教　員　名
M4401	臨床栄養学各論	海　陸　留　美

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
栄養と健康	食物栄養科	２年次	前期	2

授業概要

解剖生理学、医学概論・臨床医学入門、臨床栄養学総論を基盤とし、疾病の成り立ちを理解し、病態に応じた食事の管理を中心とした栄養管理について学習する。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	傷病者の病態に応じた食事管理を中心とした栄養管理について理解することができる。		○				
2	傷病者に適切な治療食と栄養食事療法を提案できるようになる。			○			
3							
4							
5							

授業計画

No.	授　業　内　容	授業時間外学習の内容と時間
1	オリエンテーション ○代謝疾患の病態と栄養ケア 肥満症、メタボリックシンドローム	予習：テキスト第１章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
2	○代謝疾患の病態と栄養ケア 糖尿病	予習：テキスト第１章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
3	○代謝疾患の病態と栄養ケア 脂質異常症	予習：テキスト第１章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
4	○消化器疾患の病態と栄養ケア 胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍	予習：テキスト第３章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
5	○消化器疾患の病態と栄養ケア 便秘症、下痢症、炎症性腸疾患	予習：テキスト第３章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
6	○消化器疾患の病態と栄養ケア 肝炎、肝硬変	予習：テキスト第４章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
7	○消化器疾患の病態と栄養ケア 脂肪肝、アルコール性脂肪性肝疾患、非アルコール性脂肪性肝疾患	予習：テキスト第４章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
8	○消化器疾患の病態と栄養ケア 胆石症、胆のう炎、膵炎	予習：テキスト第４章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
9	○循環器疾患の病態と栄養ケア 高血圧、動脈硬化	予習：テキスト第５章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
10	○循環器疾患の病態と栄養ケア 虚血性心疾患、心不全	予習：テキスト第５章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
11	○腎疾患の病態と栄養ケア 慢性腎臓病（CKD）	予習：テキスト第６章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
12	○腎疾患の病態と栄養ケア 糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全	予習：テキスト第６章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
13	○腎疾患の病態と栄養ケア 糖尿病腎症、透析療法と栄養ケア	予習：テキスト第11章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
14	○アレルギー疾患の病態と栄養ケア 食物アレルギーの病態	予習：テキスト第11章予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト
15	○アレルギー疾患の病態と栄養ケア 食物アレルギーの栄養ケア	予習：ガイドラインを予習する（１ｈ） 復習：授業プリントを復習する（１ｈ）→小テスト

履修条件や関連する科目等

１年後期に履修した「解剖生理学」、「医学概論・臨床医学入門」、「臨床栄養学総論」と関連が強い

教科書（テキスト）

栄養科学イラストレイテッド臨床栄養学疾患別編 本田佳子編　羊土社 2022年（2,800円+税）

参考書（授業資料）

プリントを授業で配布します

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１	40%	10%			5%	
到達目標２	30%	10%			5%	
到達目標３						
到達目標４						
到達目標５						

評価基準等

期末試験（70%）、小テスト（20%）、授業の取り組み姿勢(10%)で評価する。

学習相談及び学習成果のフィードバック

(1) オフィスアワー・研究室の所在
　・水曜日：10:40~12:10、月～金曜日：16:20~17:00
　・研究室：２号館２階223番
(2) 学習成果のフィードバック
　・答案、小テストの返却方法については講義内で指示します

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

栄養士資格：栄養と健康（必修科目）

学生へのメッセージその他

＜ICT活用＞
　授業の復習テストでmoodleを活用します。
＜メッセージ＞
　この講義で各疾患に対する食事療法を理解することも大切ですが、どうすれば患者様に食事療法を長く継続していただけるのかを考えてほしいと思います。
この授業は、遠隔授業で実施します。
＜実務家教員としてのメッセージ＞
　大学病院で特別治療食の給食管理および入院患者に対する栄養食事指導を行った経験を活かし、授業では病態別の食事療法や栄養管理のあり方について学びます。
＜その他＞
　この授業科目は、新型コロナウイルスの状況によっては遠隔授業で実施する場合があります。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ

CNU-2-02-010

科目コード	科　目　名	担　当　教　員　名
M3701	食品衛生学	岡　本　昭

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
食品と衛生	食物栄養科	２年次	前期	2

授業概要

わが国では、少子高齢化、女性の社会進出等で、外食、中食など食のニーズが大きく変化、多様化しています。フードモデル、フードビジネスが発展、変化する中で、食の安全・安心や健全な食生活を実践することはますます重要性を増しています。食品産業の加工や流通技術が発展し、地域の食材を鮮度の良い状態で食することができる一方、様々な食料が世界中から輸入されています。一方、これまでの食中毒や食品添加物、食品環境を取りまく化学物質の問題のほか、BSEの出現やノロウイルス食中毒、鳥インフルエンザ、遺伝子組み換え食品などこれまでになかった新しい食の安全に関わる問題が発生しています。

この授業では細菌等や食品の変質などを原因とした食中毒と食品添加物等化学物質に関すること、HACCPや食品衛生の管理や施策など、栄養士として有するべき食品衛生に対する専門的な知識と食の安全に関する基本的な態度について学習します。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	食生活の危害要因について、衛生面から理解する。		○				
2	安全、安心な食生活を保持するための専門知識を修得する。			○			
3	食品衛生に関する基本用語を理解し、食中毒の発生原因とその対策について説明できるようになる。						○
4							
5							

授業計画

No.	授　業　内　容	授業時間外学習の内容と時間
1	食品衛生学の概論、食品衛生行政と関連法規	予習：教科書（第１章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
2	食品の変質① 食品中の微生物（微生物の種類、増殖条件）、微生物の由来	予習：教科書（第２章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
3	食品の変質② 腐敗の判定、化学的変質	予習：教科書（第２章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
4	食品の変質③ 食品の腐敗、変敗の防止法	予習：教科書（第２章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
5	食中毒 定義と分類、発生状況、細菌性食中毒総論	予習：教科書（第３章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
6	細菌性食中毒各論① サルモネラ・腸炎ビブリオ・ボツリヌス食中毒など	予習：教科書（第３章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
7	細菌性食中毒各論② その他の細菌性食中毒、ノロウイルスなど	予習：教科書（第３章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
8	自然毒による食中毒 動物性自然毒・植物性自然毒	予習：教科書（第５章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
9	経口感染症と寄生虫症、衛生動物	予習：教科書（第４章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
10	食品中の汚染・有害物質 化学物質、有害金属	予習：教科書（第５章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
11	食品添加物概要 食品添加物の定義、安全性評価	予習：教科書（第１章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
12	食品添加物各論 食品添加物の種類と用途など	予習：教科書（第６章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
13	食品衛生管理 家庭など一般的な衛生管理、HACCP、ISO	予習：教科書（第７章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
14	食品の安全性問題 遺伝子組み換え食品、放射線と食品、農薬と食品、 リスク分析と国際化	予習：教科書（第８章）中の重要な言葉について調べておく。（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）
15	まとめ 食品衛生法・食品安全基本法・食品の規格基準および表示基準	これまで配布した資料を読んでおく（１時間） 復習：配布資料の内容を整理する。（１時間）

履修条件や関連する科目等

食品と衛生の観点から、食品学を学んだうえで２年前期に食品加工学並びに食品衛生学実験を通して食品衛生学の理論を学びます。さらに２年後期では食の安全と鑑別について学び、食品加工実習を行います。

教科書（テキスト）

はじめて学ぶ健康・栄養系教科書シリーズ11 食品衛生学 食の安全性を理解するために 西瀬j弘・檜垣俊介・和島孝弘 著 化学同人 2022年 2,000円（税別）

参考書（授業資料）

プリントを授業時に配布します。プリントをきちんと整理しておくこと。
(1) 食をめぐる本当の話 阿部尚樹 上原真理子 中沢彰吾 講談社現代新書 2015年 760円（税別）
(2) 食品衛生の歴史と科学 細貝祐太郎 編集 中央法規出版 2013年 2,400円（税別）

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１	20%	5%			5%	
到達目標２	25%	5%			5%	
到達目標３	25%	5%			5%	
到達目標４						
到達目標５						

評価基準等

期末試験、小テスト、発表や取り組み姿勢で評価する。

学習相談及び学習成果のフィードバック

（１）学習相談
研究室：本館405号
オフィスアワー：月曜日13:00～14:30　金曜日13:00～14:30
学習相談には、オフィスアワーおよび昼休み、放課後の時間に対応します。わからないところは質問に来てください。
E-Mail等を利用した質問も受け付けます。
（２）学習成果等のフィードバック
小テストは授業中に返却します。

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

（１）栄養士免許証取得資格：食品と衛生（必修）
（２）フードスペシャリスト受験資格：食品の安全性に関する科目（必修）

学生へのメッセージ その他

食品衛生学は、栄養士にとって、食を提供することも、高齢者、病者、その他職場の人々などに「食の安全・安心」を提供する基本となります。公的機関の研究者として、食品衛生に携わった経験をいかし、授業では食品衛生の基本と現場での応用事例について学びます。

社会的状況に応じて、Moodleを利用したオンデマンドで授業を行います。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ　FHY-2-01-010

科目コード	科　　目　　名	担　当　教　員　名
761B1	**教職実践演習（栄養教諭）**	**伊　藤　京　子**

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
教職に関する専門科目	食物栄養科	２年次	後期	2

授業概要

栄養教育実習で学んだこと、学びきれなかったことを整理し、グループ討議やワークショップ等の授業を通して栄養教諭としての資質の向上を目指す。また、教育者としての役割、自覚についての意識を高める。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	栄養教諭としての基本的な知識・技能を身につけ、食に関する指導ができる。		○				
2	学校の組織の一員として、栄養教諭が果たす役割を理解し、実践できる能力を身につける。				○		
3							
4							
5							

授業計画

No.	授　業　内　容	授業時間外学習の内容と時間
1	教職実践演習（栄養教諭）への理解、シラバスの説明 １年次で習得した内容の再確認。	これまでの学習の振り返り（0.5h）
2	人権・部落差別解消学習	
3	校内における食育推進体制について ・体制整備の構築　・推進体制の在り方	個別指導のプラン考案（1h）
4	食に関する個別指導のグループ演習	授業の反省（0.5h） 次回の予習（0.5h）
5	市町村における栄養教諭の果たす役割について ・他部局との連携の在り方等についての協議）	授業の反省（0.5h） 次回の予習（0.5h）
6	各教科における食に関する指導（家庭科・技術家庭科　体育・保健体育科） ・TTによる授業プラン作成	学習指導要領の復習とプラン作成（1h）
7	各教科における食に関する指導（学級活動　総合的な学習の時間） ・TTによる授業プラン作成	フィールド･ワークに向けての事前調べや課題設定）（1h）
8	学校現場の見学・調査（フィールド・ワーク　１）	フィールド・ワークのまとめ（1h）
9	学校現場の見学・調査（フィールド・ワーク　２）	フィールド・ワークのまとめ（1h）
10	学校現場の見学・調査（フィールド・ワーク　３）	フィールド・ワークのまとめ（1h）
11	模擬授業　事前研究	模擬授業の評価及び反省とまとめ（1h）
12	模擬授業演習	模擬授業の評価及び反省とまとめ（0.5h）
13	模擬授業　事後研究	模擬授業の評価及び反省とまとめ（0.5h）
14	課題レポート作成	発表の準備（1h）
15	後期のまとめと課題レポート発表	授業の振り返りとまとめ。(0.5h)

履修条件や関連する科目等

教育実習が終了して教師の資質向上のための教科の意味を理解し、個人の資質向上に努力する。
栄養教育実習・学校栄養指導論・栄養教諭事前事後指導

教科書（テキスト）

栄養教諭のための教職実践演習・栄養教育実習ノート（学建書院）2021年 2,750円（税込）
食に関する指導の手引き～第二次改訂版～文部科学省（東山書房）2019年 1,320円（税込）

参考書（授業資料）

食育に関する図書全般（研究室設置）
各教科の学習指導要領
指導案の書き方（研究室設置）

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題･レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１			20%	20%	20%	
到達目標２			20%	10%	10%	
到達目標３						
到達目標４						
到達目標５						

評価基準等

グループ活動や演習が主となる科目なので、積極性、意欲等の取組態度を評価します。また課題につていは各教科の目標、食育の視点、子どもが主体的に学べる内容になっているかを重視した評価をします。

学習相談及び学習成果のフィードバック

課題作成等については個別相談に応じます。（メールでの対応も可）
課題の成果発表や返却は授業内で行います。
＊研究室　２号館２階

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

栄養教諭２種免許：教職実践演習（必修）

その他 学生へのメッセージ

小中学校で、栄養教諭という立場で学校の組織の一員として勤務していたことを元に、現場の声を反映できるような授業を行います。履修者は、栄養教諭としてどう動くか、どう他者と連携をしていくか等を考えながら演習を行ってください。
教育実習で習得したことや反点を生かし、さらにつけたい知識や技能について取得を目指してください。
ここの授業科目は、新型コロナウイルスの状況によっては遠隔授業で実施する場合があります。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ

PTS-9-02-010

科目コード	科　目　名	担　当　教　員　名
M7701	学校栄養指導論	伊　藤　京　子

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
関連科目	食物栄養科	１年次	前期	2

授業概要

児童生徒が生涯にわたって心身ともに健康な生活を送ることができる食に関する資質・能力を身につけるためには、学校、地域、家庭が連携を図り、学校教育活動全体を通して食に関する指導を実践していく必要があることを理解する。また、学校給食の栄養・衛生管理、食に関する指導について、具体例を通して学ぶ。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	学校給食の意義や役割、栄養教諭の職務内容を理解する。		○				
2	学校給食を活用した食に関する指導の実践力を身につける。					○	
3	学校・地域・家庭が連携を図った食に関する指導について理解する。						○
4							
5							

授業計画

No.	授　業　内　容	授業時間外学習の内容と時間
1	栄養教諭の使命や職務内容、学校給食の歴史と意義役割（含各種法律等）	講義に関する項目の復習（0.5h）と次回の予習。(0.5h)
2	食文化の変遷と児童生徒の現状 学校給食の栄養管理と衛生管理について	講義に関する項目の復習（0.5h）と次回の予習。(0.5h)
3	学校給食の献立作成について（各種基準、年間計画、地場産物、教科との関連、各種行事等を踏まえた献立作成）	学校給食関連のマニュアルの確認（0.5h）と地域の学校給食の献立についての調べ学習。(0.5h)
4	給食の時間における指導（給食時間の指導案作成：給食の献立を活用しての指導方法と指導媒体の工夫）（グループワーク）	１～２日分の給食時間の指導案を考案する。(1h)
5	学校教育活動全体で行う食に関する指導について（体制整備及び実践事例）	講義内容の復習（0.5h）と次回の予習。(0.5h)
6	食に関する指導の全体計画、年間計画について	講義内容の復習（0.5h）と次回の予習。(0.5h)
7	個別指導について（アレルギー、痩身肥満、偏食、運動）	講義内容の復習（0.5h）と給食だよりの作成。(1h)
8	アクティブラーニング：食育だより等情報発信資料とその活用について（グループワーク）	作成資料の評価（0.5h）と次回の予習（0.5h）
9	保護者及び地域対象の食育について	講義内容の復習（0.5h）と食育事例の調べ学習。(1h)
10	各教科等における食に関する指導の実際（学習指導要領、教育課程等との関連）	講義内容の復習（0.5h）と各教科等における食に関する指導ついての調べ学習。(0.5h)
11	各教科等における食に関する指導の実際（学習指導要領、教育課程等との関連）	指導案、教材作成。(1h)
12	アクティブラーニング：食に関する指導の展開（指導案、教材研究を行う）	指導案、教材作成。(1h)
13	アクティブラーニング：食に関する指導の展開（指導案、教材研究を行う）	模擬授業の練習。(1h)
14	模擬授業（研究協議）	評価とまとめ。(0.5h)
15	模擬授業（研究協議）とまとめ	評価とまとめ。(0.5h)

履修条件や関連する科目等

栄養教諭は栄養士の免許の取得が条件になります。
栄養教育実習があり、実習に向けて栄養教諭実習事前、事後指導が通年にわたりあります。
教育実習後には、栄養教育実践演習を履修し、栄養教諭の実践的な学習をします。

教科書（テキスト）

教職実践演習・栄養教育実習ノート 学建書院 2,750円（税込）

参考書（授業資料）

食に関する指導の手引き 第二次改訂版（文部科学省）
食生活に関する全般図書
学習指導要領
文部科学省発行の学校給食に関する各種マニュアル
学校給食の献立集（研究室に設置）
指導案の書き方（研究室設置）

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１	20%				10%	
到達目標２	10%			10%	20%	
到達目標３			20%	10%		
到達目標４						
到達目標５						

評価基準等

学修達成度の判定基準に基づき試験や課題の内容で評価。

学習相談及び学習成果のフィードバック

指導案や教材作成については個別に対応します。（メースでの添削も可）
授業の初めに前回の学習内容の振り返りを行い、必要事項が身につくようにしていきます。
　＊研究室　２号館２階

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

栄養教諭免許二種：栄養教諭の役割および教務内容認可する事項（必須）

学生へのメッセージ その他

　自身の栄養教諭としての実践を元に、具体的な事例を示していきます。目的や目標をもって授業にのぞんでください。また日頃から食育や学校現場で起きている様々出来事についての情報に目を向けてください。
　ICTを活用した児童生徒への指導内容を組み立てたり、moodleを使って授業の振り返りをするのでパソコンを持参してください。
　この授業科目は、新型コロナウイルスの状況によっては遠隔授業で実施する場合があります。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ

NTT-1-01-010

科目コード	科　　目　　名	担　当　教　員　名
M4501	応用栄養学	浜　野　香　奈

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
栄養と健康	食物栄養科	２年次	前期	2

授業概要

日本は世界でもトップクラスの長寿国です。健康寿命を延ばし、健やかな高齢期を迎えるためには、幼少期からの適切な生活習慣が大切であり、なかでも食生活は健康の維持増進に深く関与しています。生命の誕生から幼少期、思春期、成人期を経て、高齢期に至るまでのそれぞれのライフステージにおける、身体の特徴に応じた栄養食事管理の実際について修得します。その他に運動やスポーツ、特殊な環境下において必要な栄養管理について学びます。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	日本人の食事摂取基準に基づいた栄養摂取基準や栄養素の指標が説明できる。			○			
2	ライフステージやライフサイクルごとの身体的な特徴を理解し、適正な栄養食事管理ができる。		○				
3	運動やスポーツ時、また特殊環境において必要な栄養管理について説明ができる。						○
4							
5							

授業計画

No.	授　業　内　容	授業時間外学習の内容と時間
1	オリエンテーション（授業の目的や進め方、評価方法など） 応用栄養学の概念（ミニッツペーパー）	予習：テキスト「はじめに」に目を通しておく（1h） 復習：テキスト第１章のｐ11～12の練習問題を解く（1h）
2	日本人の食事摂取基準の基礎的理解	予習：テキストp13～26を読む（1h） 復習：第２章のp27の練習問題を解く（1h）
3	妊娠期の特徴と栄養について	予習：テキストp29～41を読む（1h） 復習：第３章p42～43の練習問題を解く（1h）
4	授乳期の特徴と栄養について	予習：テキストp45～53を読む（1h） 復習：第４章p54の練習問題を解く（1h）
5	乳児期の特徴と栄養について	予習：テキストp55～70を読む（1h） 復習：第５章p71～72の練習問題を解く（1h）
6	幼児期の特徴と栄養について	予習：テキストp73～82を読む（1h） 復習：第６章p83～84の練習問題を解く（1h）
7	学童期・思春期の特徴と栄養について	予習：テキストp85～96、p99～105を読む（1h） 復習：第７章p96～97、第８章p107～108の練習問題を解く（1h）
8	妊娠期から思春期までの振り返り小テスト	予習：第１～７回の授業の復習（1h） 復習：小テストの見直し
9	成人期・更年期の特徴と栄養について	予習：テキストp109～127を読む（1h） 復習：第９章p128の練習問題を解く（1h）
10	高齢期の特徴と栄養について 小テスト（妊娠期から高齢期）	予習：テキストp129～144を読む（1h） 復習：第10章p145の練習問題を解く（1h）
11	運動・スポーツ時の身体的変化と栄養について	予習：テキストp147～165を読む（1h） 復習：第11章p166の練習問題を解く（1h）
12	特殊環境下の身体的変化と栄養について	予習：テキストp167～174を読む（1h） 復習：第12章p175の練習問題を解く（1h）
13	授業の振り返り：各項目ごとのまとめ（グループワーク）	予習：まとめ学習（スライド作成）（2h）
14	「応用栄養学」の振り返り 栄養士実力認定試験過去問題より	予習：栄養士実力認定試験の過去問題を解く（1h） 復習：授業内で実施した練習問題の振り返り（1h）
15	ライフステージ別の特徴と栄養について（プレゼンテーション）	予習：発表の練習（1h） 復習：期末テスト対策（1h）

履修条件や関連する科目等

・栄養士免許必修科目
・人体の構造と機能、栄養と健康

教科書（テキスト）

・はじめて学ぶ 健康・栄養系教科書シリーズ⑥「応用栄養学」~適切な食生活を実践するための基礎~
　化学同人 奥田あかり・上山恵子 他著（2,100円+税）
・日本人の食事摂取基準2020年版 第一出版 菱田明、佐々木敏監修（2,600円+税）

参考書（授業資料）

2022年度栄養士実力認定試験過去問題集（一社）全国栄養士養成施設協会 編

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１	20%	10%				
到達目標２	30%	10%		10%		
到達目標３	10%		10%			
到達目標４						
到達目標５						

評価基準等

期末試験：60%、小テスト：20%、課題・レポート：10%、発表：10%で評価し６０点以上を合格とする。再試験を実施する。

学習相談及び学習成果のフィードバック

・授業計画に学修内容とテキストの範囲を示しています。予習を行って授業に臨んで下さい。
・練習問題をよく理解し、復習を行ってください。
・授業内容のまとめを発表形式で行います。グループワークになりますので協力して行ってください。
　課題や質問にはオフィスアワーで対応します。月～金：16:10～17:00。（研究室23号館１階101号室）

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

栄養士免許取得資格：栄養と健康（必修科目）

学生へのメッセージその他

＜メッセージ＞
　人は毎日食事をすることで必要なエネルギーや栄養素を体に摂り入れています。食生活のあり方や内容が時代の流れとともに多様化していくなかで、栄養士は対象者の状態を把握し、適切な栄養食事管理を行うことが求められます。ライフステージに沿った成長の状態や身体変化を学び、幅広い年齢層の対象者に応用できる栄養学の知識を身につけてください。
　この授業は状況によって遠隔授業で実施される可能性があります。
＜実務家教員としてのメッセージ＞
　皆さんが修得する栄養や食事の知識は、栄養士として接する対象者の適切な栄養食事管理に欠かせないものであるとともに、皆さん自身や周囲の人に対する健康管理にも役立つ力となるでしょう。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ

APN-2-01-010

科目コード	科　　目　　名	担　当　教　員　名
JJ510A	**教育原理**	髙　橋　俊　二

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
＜専門科目＞	初等教育科	1年次	後期	2

授業概要

教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたかを理解する。（グループワーク、グループディスカッション）遠隔で授業を実施する場合、授業時間の初めにGメールで課題を送付、授業終了前にGメールで課題提出。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因の関係を理解することができる。		○				
2	教育の歴史に関する基礎知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解することができる。		○				
3	教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解することができる。			○			
4							
5							

授業計画

No.	授　業　内　容	授業時間外学習の内容と時間
1	講義の概要説明：「教育原理」学習の目的と授業計画（教育とは何か）	
2	教育の意義と目的：教育の意味と教育の目的（人間とは何か）	配布したプリントを熟読する（0.5h）
3	教育の制度上の規定：「日本国憲法」「教育基本法」等	配布したプリントを熟読する（0.5h）
4	教育の役割：人間形成と学校・家庭・地域社会の関連性	配布したプリントを熟読する（0.5h）
5	教育の思想と歴史的変遷（1）諸外国の教育思想史	配布したプリントを熟読する（0.5h）
6	教育の思想と歴史的変遷（2）諸外国の教育思想史	配布したプリントを熟読する（0.5h）
7	教育の思想と歴史的変遷（3）日本の教育思想史	配布したプリントを熟読する（0.5h）
8	教育の思想と歴史的変遷（4）日本の教育思想史	配布したプリントを熟読する（0.5h）
9	教育の制度：学校制度、教育法規、教育制度	配布したプリントを熟読する（0.5h）
10	教育内容と教育課程：教育内容の構成、教育課程と計画	配布したプリントを熟読する（0.5h）
11	教育の実践（1）：教育方法、評価、教育実践の多様な取り組み	配布したプリントを熟読する（0.5h）
12	教育の実践（2）：教育実践の多様な取り組み	配布したプリントを熟読する（0.5h）
13	現在社会と教育課題：問題行動、不登校、いじめ、虐待等	配布したプリントを熟読する（0.5h）
14	現代社会と教育課題：学力・体力の向上、豊かな心の育成等	配布したプリントを熟読する（0.5h）
15	まとめ：今、求められる教師像	配布したプリントを熟読する（0.5h）

履修条件や関連する科目等

特になし

教科書（テキスト）

プリントを授業の時に配付する。

参考書（授業資料）

特になし

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１	20%		10%			
到達目標２	20%		10%		10%	
到達目標３	20%				10%	
到達目標４						
到達目標５						

評価基準等

期末試験（60%）、期末レポート(20%) 授業への取り組み姿勢・課題等の提出（20%）で評価する。

学習相談及び学習成果のフィードバック

○答案・レポートは成績発表後のオフィスアワーに研究室で返却する。
○オフィスアワー火曜日・金曜日の16：20～　研究室　１号館３階133

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

幼稚園・小学校二種免許状取得のための必修科目：教育の基礎理論に関する科目

学生へのメッセージ その他

毎回の授業で課題を出します。しっかりと授業に集中すること。
小学校教員・指導主事の経験を活かし、授業では、教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学びます。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ

PED-1-01-020

科目コード	科目名	担当教員名
JJ7D0A	国語科指導法	古川元視

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
＜専門科目＞	初等教育科	２年次	前期	2

授業概要

小学校国語科の「読むこと」「書くこと」「話すこと･聞くこと」の教材分析を行い，模擬授業や模擬授業の振り返りをすることで，国語科の授業の指導法を学ぶ。その際に，ICTを活用した授業をつくる。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	物語の教材分析とタブレットを活用した学習指導案を作成し，模擬授業と振り返りを行うことができる。		○				
2	書くことの教材分析とタブレットを活用した本事案を作成し，模擬授業と振り返りを行うことができる。			○			
3	話すこと・聞くことの教材分析とタブレットを活用した本事案を作成し，模擬授業と振り返りを行うことができる。						○
4							
5							

授業計画

No.	授業内容	授業時間外学習の内容と時間
1	物語の学習指導案を分析して，学習指導案の書き方を確認する。（アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	復習：物語の学習指導案の分析をする。（１ｈ）
2	物語の学習指導案の書き方を確認する。（アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	予習：物語の教材分析をする。（２ｈ）
3	物語の教材分析をする。（アクティブ･ラーニング:グループディスカッション，反転授業）	予習：物語の並行読書の本を探す。（１ｈ）
4	物語の並行読書の本を探す。（アクティブ・ラーニング：グループディスカッション，反転授業）	復習：並行読書の本を決定。（１ｈ）
5	物語の並行読書を決定する。（アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	予習：タブレットを活用した物語の学習指導案の授業過程までを書く。（２ｈ）
6	タブレットを活用した物語の学習指導案の授業過程までを書く。（アクティブ・ラーニング：グループディスカッション，反転授業）	復習：タブレットを活用した物語の学習指導案の授業過程までを完成する。（１ｈ）
7	タブレットを活用した物語の学習指導案の授業過程までを協議して，修正する。（アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	予習：タブレットを活用した物語の学習指導案の本事案を書く。（２ｈ）
8	タブレットを活用した物語の学習指導案の本事案を協議して，修正する。（アクティブ･ラーニング:グループディスカッション，反転授業）	復習：タブレットを活用した物語の学習指導案の本事案を完成する。（１ｈ）
9	タブレットを活用した物語の学習指導案の本事案の発問を考える。（アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	復習：本事案の発問を修正する。（１ｈ）
10	タブレットを活用した物語の学習指導案の発問を完成する。（アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	復習：模擬授業の練習をする。（１ｈ）
11	タブレットを活用した物語の模擬授業の練習をする。（アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	復習：模擬授業の練習をする。（１ｈ）
12	タブレットを活用した物語の模擬授業と振り返りをする。（アクティブ・ラーニング：グループディスカッション，反転授業）	予習：タブレットを活用した「書くこと」または「話すこと・聞くこと」の本事案を作成する。（２ｈ）
13	タブレットを活用した「書くこと」の模擬授業と振り返りをする。（アクティブ・ラーニング：グループディスカッション，反転授業）	予習：タブレットを活用した「話すこと･聞くこと」の模擬授業の練習をする。（１ｈ）
14	タブレットを活用した「話すこと・聞くこと」の模擬授業と振り返りをする。（アクティブ・ラーニング：グループディスカッション，反転授業）	予習：今までの学修を振り返り，身に付いた力を書く。（１ｈ）
15	今までの学修を振り返り，身に付いた力を確認する。（アクティブ･ラーニング：グループディスカッション）	復習：書いた学習指導案などを整理する。（１ｈ）

履修条件や関連する科目等

教科書（テキスト）

・小学校学習指導要領（平成29年度告示）文部科学省，217円+税
・小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 国語編（文部科学省：東洋館出版社）平成30年，162円+税
・読書活動でアクティブに読む力を育てる!小学校国語科言語活動アイデア＆ワーク（井上一郎編/古川元視著：明治図書），2015年，2,260円+税
・国語科教育の基礎・基本 教え方・学び方 ポイント＆シート １読むこと（井上一郎著：明治図書）2021年，2,360円+税

参考書（授業資料）

・アクティブ・ラーニングをサポートする!学校図書館活用プロジェクト掲示ポスター＆ポイントシート事典（井上一郎編著/古川元視著：明治図書），2017年，2,860円+税
・読解力を育てる!小学校国語 定番教材の発問モデル 物語編/説明文編（井上一郎編著：明治図書），2015年，2,460円+税
・誰もがつけたい説明力（井上一郎著：明治図書）2005年，2,160円+税
・アクティブ・ラーニングをサポートする!小学校教室掲示ポスター＆言語能力アップシート事典（井上一郎編著：明治図書）2017年，2,900円+税
・小学校国語「汎用的能力」を高める!アクティブ・ラーニングサポートワーク（井上一郎編著：明治図書）2015年，2,700円+税
・国語科教育の基礎・基本 教え方・学び方 ポイント＆シート ２話すこと・聞くこと/書くこと（井上一郎著：明治図書）2021年，2,400円+税

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題･レポート	発表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１			15%	15%	10%	
到達目標２			10%	10%	10%	
到達目標３			10%	10%	10%	
到達目標４						
到達目標５						

評価基準等

学習相談及び学習成果のフィードバック

・授業相談はオフィスアワー（詳細には後日連絡する）で受ける。(24号館５階509研究室)
・課題，レポートは授業の中で返却する。

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

小学校免許：幼稚園免許「教科に関する科目」

学生へのメッセージその他

・国語科はすべての教科の基盤となる重要な教科であり，育成すべき言語能力をよく理解するとともに，自らもその言語能力を習得するように努めること。
・教育現場で国語の授業を行ったり，指導したりしてきたことを活かし，授業では具体的な事例を交えて講義をする。
・授業中の私語，飲食，携帯メール等は一切認めない。
・欠席は必ず連絡すること。
・提出物や資料等は必ず提出して保管すること。
・遠隔授業の能性がある。
・ノートパソコンは，ロイロノートで使用するので，持ってくること。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ

SUP-3-09-030

科目コード	科　　目　　名	担　当　教　員　名
JJ710A	教育課程論	三　宮　知　恭

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
＜専門科目＞	初等教育科	１年次	前期	2

授業概要

小学校学習指導要領、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領等の内容を基準として、教育課程の意義と教育実践に即した編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。		○	○			
2	教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。					○	
3	教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。						○
4	学校全体の教育課程の編成について、モデル案等を調べ、学習指導案を作成する意義と作成について学ぶ。				○		
5							

授業計画

No.	授　業　内　容	授業時間外学習の内容と時間
1	教育課程とは何か 教育関係法規の歴史や内容から	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
2	教育課程を編成するにあたり必要なことを理解する	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
3	何故、教育課程を編成する必要があるのか理解する	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
4	平成29年告示の教育・保育に関わる法規の改訂の主旨を理解する	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
5	幼稚園教育要領の改訂や内容について理解する保育所保育指針の改訂やその内容について理解する 認定こども園教育・保育要領について、その内容について理解する	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
6	幼稚園・保育所・認定こども園で求められている「育てたい10の姿」について理解する 幼児教育から小学校教育へのつながりを理解する アプローチ・カリキュラム、スタート・カリキュラムについて理解する	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
7	保育・幼稚園教育現場での「保育案」年間計画・学期案・月案・週案・日案の作成について学ぶ	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
8	学習指導要領のねらい（総則を中心に）を理解する	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
9	教育課程（指導計画）作成の具体的方法について知る 学習指導要領と照らしながら全体計画に必要な内容について理解する	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
10	「地域に開かれた教育課程」について理解する 地域や保護者との連携のあり方について考えを深め、広げる	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
11	防災教育など教育現場に求められている様々な分野の教育課程（計画）について、理解する	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
12	各教科の教育課程（指導計画、学習指導案）について知る	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
13	学習指導案を作成しよう　1 「算数」の学習指導案を作成してみよう	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
14	学習指導案を作成しよう　2 「国語」の学習指導案を作成してみよう	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
15	カリキュラム・マネジメントの意義と重要性，まとめ	テキストやプリントを熟読する（0.5h）

履修条件や関連する科目等

学校教育要領、幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領や教育関係法規に関する科目

教科書（テキスト）

・小学校学習指導要領（平成29年３月告示 文部科学省）
・幼稚園教育要領（平成29年３月告示 文部科学省）
・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年３月告示 内閣府 文部科学省 厚生労働省）
・保育所保育指針（平成29年３月告示 厚生労働省）

参考書（授業資料）

・保育課程・教育課程総論（ミネルヴァ書房）
・その他、必要に応じて紹介する。

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題･レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１	10%		15%		5%	
到達目標２	10%		15%			
到達目標３	10%		15%			
到達目標４			20%			
到達目標５						

評価基準等

毎時間の課題シートの内容（穴埋だけでなくメモ書きを含む）や指導案等の作成を評価し、積み上げていく。

学修の到達度に応じて、ＡＡ（９０～１００点）、Ａ（８０～８９点）、Ｂ（７０～７９点）、Ｃ（６０～６９点）、Ｆ（５９点以下）で評価する。なお、授業に取り組む姿勢や試験結果によっては、再試を行うこともある。

学習相談及び学習成果のフィードバック

・オフィスアワー（研究室422）
・オンデマンドでの質問は随時受けます。（メール等）
・課題シートは次の時間に評価して、コメント付けて返却する。
・期末試験の返却については、担任を通じて返却します。

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

免許資格関連：教職（小学校教員免許、幼稚園免許）保育士資格　必修科目、卒業必修科目

学生へのメッセージその他

・長年にわたる教育現場における様々な経験を活かし、教育課程の意義、教育マネジメントを行う意義等について講義を行います。
・自分が小学校や幼稚園の教諭になったときのことをイメージして積極的に授業に臨むこと。
・遠隔授業になる場合もあります。その場合は、「オンデマンド授業」として、moodle上に読み物や動画の学修資料を用意し、それに対する課題シートに解答・回答し、提出することになります。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ

DID-1-05-020

科目コード	科　目　名	担　当　教　員　名
JJ741C	**保育内容Ⅰ**	谷　川　友　美

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
＜専門科目＞	初等教育科	１年次	前期	2

授業概要

幼稚園教育において育みたい資質・納涼を理解し、幼稚園教育要領に示された領域健康のねらい及び内容について個々の発育発達の状態に対する配慮等の理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して構想する方法を身に付ける。遠隔で授業を実施することになった場合は、オンデマンド形式で実施する予定とする。授業に関する指示の方法は、授業時間内で指示、もしくはメールにて指示する。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する		○	○			
2	幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に着ける		○			○	
3							
4							
5							

授業計画

No.	授　業　内　容	授業時間外学習の内容と時間
1	保育内容健康のねらいと内容の理解について	復習：テキスト「健康」とはないかを熟読し次回のテーマについて調べる。(40分)
2	健全な心身の発育発達に見る乳幼児期の発達課題とその特徴について（グループワーク：アクティブラーニングの実施）	復習：子どもの健康と保育環境との関係について自分なりに考察する。(30分)
3	領域健康に関する保育内容の具体例について ・幼稚園教育要領における領域「健康」について	予習：幼稚園教育要領「健康」について関係ある個所を読み込む。(30分)
4	保育指導と援助方法について ・保育所保育指針乳児保育 （グループワーク：アクティブラーニングの実施）	予習：保育所保育指針の中で、「健康」領域の部分について読み込む。(30分)
5	人間の身体的発達とその仕組みについて	関連するテキスト部分を読み込む。(30分)
6	人間の社会的発達とその仕組みについて	関連するテキスト部分を読み込む。(30分)
7	乳幼児期の全面的な発達及び特徴について	乳幼児期の発達部分を読み込む。(40分)
8	基本的生活習慣について	復習：テキスト部分の基本的生活習慣部分について再考し自分なりに理解をまとめる。(40分)
9	保育の中の保健計画（健康行事と安全保育）について	健康行事と安全保育について調べる。(40分)
10	健康と病気の概念および保育内容の歴史について	関心の高い問題について調べる。(1.5h)
11	安全管理に関する問題について（DVD視聴・グループワーク:アクティブラーニングの実施）	安全の問題について調べる。(1.5h)
12	領域健康の視点から見た指導案の作成について ・附属幼稚園観察（フィールドワーク：アクティブラーニングの実施）	幼稚園での観察の中から「健康」の視点から見た指導案作成を行う。(1.5h)
13	模擬保育：アクティブラーニングの実施・０～２歳児の遊び ・３～５歳児の遊び	０～２歳児・３～５歳児の遊びについて調べる(1.5h)
14	保育実践の評価について	関心の高い問題について調べる。(1.5h)
15	小学校との連携について	

履修条件や関連する科目等

保育内容総論につながっていく科目である

教科書（テキスト）

子どもの姿から始める領域健康 みらい出版 秋田喜代美 2018年 2600円

参考書（授業資料）

「幼稚園教育要領解説」
<平成29年告示>フレーベル館240円+税「保育所保育指針」
<平成29年度告示>フレーベル館350円+税「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」
<平成29年告示>フレーベル館350円+税

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１			15%	15%	20%	
到達目標２			15%	15%	20%	
到達目標３						
到達目標４						
到達目標５						

評価基準等

課題レポート３０％発表プレゼンテーション等３０％授業の取り組み姿勢４０％

学習相談及び学習成果のフィードバック

（１）学習相談に応じる時間：オフィスアワーに準じる
（２）レポートの返却方法は：日時については講義内で指示する

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

保育士資格：保育の内容・方法の理解に関する科目
幼稚園免許：教育課程及び指導法に関する科目

学生へのメッセージその他

予習復習へのワークシートが課題になった時は、進んで取り組み、次回必ず提出しましょう。保育現場での経験を活かし、事例研修や学生の実習体験等を生かしたグループワーク等を取り入れ、具体的な保育の様々な切り口から保育内容（健康）について学んでいきます。学生自身の主体的な授業への参加を期待します。新型コロナウイルス感染症の影響で、遠隔授業に変更する可能性あり

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ

ECE-1-10-020

科目コード	科　目　名	担　当　教　員　名
JJ1D0A	**外国語（英語）**	**大　田　亜　紀**

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
＜専門科目＞	初等教育科	２年次	後期	2

授業概要

小学校における外国語科、外国語活動の授業実践に必要な実践的な英語運用力と英語に関する背景的な知識を身に付ける。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	小学校外国語教育に係る背景知識や主教材、小、中、高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解する。		○				
2	児童期の第二言語習得の特徴について理解する。		○				
3	実践に必要な基本的な指導技術身に付ける。				○		
4							
5							

授業計画

No.	授　業　内　容	授業時間外学習の内容と時間
1	オリエンテーション 小学校における外国語教育	
2	日本の外国語教育の変遷	講義の内容を復習する（１時間）
3	第二言語習得に関する基本的な知識 ・言語はどのように学ばれるか	講義の内容を復習する（１時間）
4	第二言語習得に関する基本的な知識 ・英語という言語の特質	講義の内容を復習する（１時間）
5	聞くことの目標と指導１ ・内容理解の為のリスニング	講義の内容を復習する（１時間）
6	聞くことの目標と指導２ ・リスニング指導	講義の内容を復習する（１時間）
7	話すことの目標と指導１ ・話すこと－発表	講義の内容を復習する（１時間）
8	話すことの目標と指導２ ・話すこと－やりとり	講義の内容を復習する（１時間）
9	読むこと・書くことの目標と指導１ ・小学校における書くことの目標、文字の指導	講義の内容を復習する（１時間）
10	読むこと・書くことの目標と指導２ ・小学校における書くことの目標、文字の指導	講義の内容を復習する（１時間）
11	小学校外国語活動・外国語科の教材作成１ ・ICT活用教材作成	講義の内容を復習する（１時間）
12	小学校外国語活動・外国語科の教材作成２ ・ICT活用教材作成	講義の内容を復習する（１時間）
13	小学校外国語活動・外国語科の教材作成３ ・ICT活用教材発表	講義の内容を復習する（１時間）
14	小学校外国語活動・外国語科の評価の在り方	講義の内容を復習する（１時間）
15	授業のまとめ	授業のふりかえり

履修条件や関連する科目等

外国語（英語）指導法

教科書（テキスト）

小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編（文部科学省）

参考書（授業資料）

実践!新学習指導要領 基本が分かる 外国語活動・外国語科の授業（東洋館出版社）
平成29年版 小学校新学習指導要領の展開 外国語活動編（明治図書）
平成29年版 小学校新学習指導要領の展開 外国語編（明治図書）
「小学校外国語活動・外国語科 研修ガイドブック」文部科学省
すぐれた小学校英語授業（研究社）

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１	15%		10%		10%	
到達目標２	15%		10%		10%	
到達目標３			20%		10%	
到達目標４						
到達目標５						

評価基準等

期末試験ー（確認テスト）３０％
課題・レポートー（毎回の授業記録ノート内容）４０％
授業の取組姿勢ー（授業への参加、ノート期限内提出）３０％

学習相談及び学習成果のフィードバック

オフィスアワー：月、木　14:40－16:10
課題、レポート等については授業内で指示します

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

小学校免許：教科に関する科目

学生へのメッセージ その他

　長年にわたる教育現場における様々な経験を活かし、小学校における外国語活動、外国語科の授業実践に必要な知識や指導技術について講義を行いますので、授業場面を意識しながら学びましょう。

※クラウド型学習支援システム「ロイロノート」を授業で毎回使用します。毎回、パソコンが必要です。（スマホ不可）
※この授業科目は、新型コロナウイルス等の感染状況によっては内容の変更や遠隔授業で実施するよう変更することがあります。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ

ENG-0-28-700

科目コード	科　目　名	担　当　教　員　名
96401	**教育課程特論**	髙　橋　俊　二

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
＜専門科目＞	専攻科　初等教育専攻	１年次	後期	2

授業概要

小学校学習指導要領・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を基準として各学校（園）において編成される教育課程について、その役割・機能・意義や、学校（園）の教育実践に即した編成の方法を理解するとともに、各学校（園）の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。（グループディスカッション）遠隔で授業を実施する場合、授業時間の初めにGメールで課題を送付、授業終了前にGメールで課題提出。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	教育課程について、その役割・機能・意義等を理解する。		○	○			
2	学校（園）の教育実践に即した教育課程の編成の方法を理解するとともに、各学校（園）の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。		○		○		
3	過去から現代に至るまでの教育課程の変遷を理解する。						○
4							
5							

授業計画

No.	授　業　内　容	授業時間外学習の内容と時間
1	教育課程の意義について	
2	教育課程に関する法制（1）教育課程とその基準について	配布したプリントを熟読する（0.5h）
3	教育課程に関する法制（2）教育課程に関する法律について	配布したプリントを熟読する（0.5h）
4	教育課程の原則（1）教育課程編成の主体について	配布したプリントを熟読する（0.5h）
5	教育課程の原則（2）教育課程編成の原則について	配布したプリントを熟読する（0.5h）
6	教育課程実施における「確かな学力、豊かな心、健やかな体力」について	配布したプリントを熟読する（0.5h）
7	教育課程実施における「育成を目指す資質・能力」について	配布したプリントを熟読する（0.5h）
8	カリキュラム・マネジメントの充実について	配布したプリントを熟読する（0.5h）
9	各学校の教育目標と教育課程の編成について	配布したプリントを熟読する（0.5h）
10	教育課程の変遷１～戦後の社会と教育課程	配布したプリントを熟読する（0.5h）
11	教育課程の変遷２～系統性重視、教育の現代化と教育課程	配布したプリントを熟読する（0.5h）
12	教育課程の変遷３～人間性重視、新学力観と教育課程	配布したプリントを熟読する（0.5h）
13	教育課程の変遷４～生きる力、確かな学力、活用能力と教育課程	配布したプリントを熟読する（0.5h）
14	教育課程における「履修原理」について	配布したプリントを熟読する（0.5h）
15	教育課程編成における共通事項について・まとめ	配布したプリントを熟読する（0.5h）

履修条件や関連する科目等

特になし

教科書（テキスト）

・小学校学習指導要領解説 総則編（平成29年７月 文部科学省）
・幼稚園教育要領解説（平成30年３月 文部科学省）
・幼保連携型認定こども園、保育要領解説（平成30年３月 内閣府 文部科学省 厚生労働省）

参考書（授業資料）

新しい時代の教育課程（有斐閣アルマ）、授業中に適宜資料を配布する。

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１	20%		10%		10%	
到達目標２	20%		10%		10%	
到達目標３	20%					
到達目標４						
到達目標５						

評価基準等

期末試験(６０％)、期末レポート(２０％)、授業態度・提出物(２０％)

学習相談及び学習成果のフィードバック

・オフィスアワー火曜日・金曜日の16：20～　研究室１号館３階133
・試験の解答等の返却は授業の中で指示する。

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

幼稚園・小学校教員一種免許取得のための必修科目：教育の基本理論に関する科目

学生へのメッセージ その他

教育課程は学校教育の中軸となるため、しっかり受講し、積極的に学んでほしい。
小学校教員・指導主事の経験を活かし、授業では、教育課程について、その役割・機能・意義や、学校（園）の教育実践に即した編成の方法や各学校（園）の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を学びます。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ

DID-3-01-030

科目コード	科　　目　　名	担　当　教　員　名
981B1	**指導法特論（社会）**	髙　橋　俊　二

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
＜専門科目＞	専攻科　初等教育専攻	１年次	前期	2

授業概要

社会科の目標と内容を具体的な実践と関連させて、学習指導案を作成し、模擬授業をする。（プレゼンテーション･グループディスカッション）遠隔で授業を実施する場合、授業時間の初めにGメールで課題を送付、授業終了前にGメールで課題提出。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	小学校社会科の各学年の目標と内容を理解し、問題解決型の学習方法を理解する。		○				
2	学習指導要領に示された社会科の目標や内容を理解する。		○				
3	基礎的な学習理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。				○		
4							
5							

授業計画

No.	授　業　内　容	授業時間外学習の内容と時間
1	社会科の目標と内容	
2	社会科の目標と指導内容の特色	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）
3	公民的資質の基礎について	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）
4	第３学年の目標と内容（指導案作成と教材研究）	指導案作成と教材研究（1h）
5	第３学年の具体的実践（模擬授業と情報機器の活用）	指導案作成と教材研究（1h）
6	第４学年の目標と内容（指導案作成と教材研究）	指導案作成と教材研究（1h）
7	第４学年の具体的実践（模擬授業と情報機器の活用）	指導案作成と教材研究（1h）
8	第５学年の目標と内容（指導案作成と教材研究）	指導案作成と教材研究（1h）
9	第５学年の具体的実践（模擬授業と情報機器の活用）	指導案作成と教材研究（1h）
10	第６学年の目標と内容（指導案作成と教材研究）	指導案作成と教材研究（1h）
11	第６学年の具体的実践（模擬授業と情報機器の活用）	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）
12	社会科の提示された資料の学習方法	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）
13	歴史学習を楽しくさせる方法	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）
14	社会科における教材と授業評価の視点	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）
15	社会科における授業評価と授業改善	小学校学習指導要領解説社会編の指定されたページを熟読（0.5h）

履修条件や関連する科目等

特になし

教科書（テキスト）

小学校学習指導要領解説 社会編（平成29年７月 文部科学省）142円+税

参考書（授業資料）

小学校社会教科書、指導書

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題･レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１	20%				10%	
到達目標２	10%				10%	
到達目標３				50%		
到達目標４						
到達目標５						

評価基準等

学習指導案の作成や模擬授業に積極的に取り組む姿を高く評価する。
再試を実施する。

学習相談及び学習成果のフィードバック

・オフィスアワー　火曜日・金曜日の16：20～　研究室１号館３階133
・試験の返却方法は授業の中で指示する。

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

小学校教員一種免許取得のための選択教科：各教科の指導法（視聴覚機器及び教材の活用を含む）

その他 学生へのメッセージ

常に、社会事象（政治・経済等）に関心を持って授業に臨むことを期待する。
小学校教員・指導主事の経験を活かし、授業では、社会科の目標と内容を具体的な実践と関連させて、学習指導案を作成の仕方や模擬授業の在り方を学びます。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ　SUP-3-10-030

科目コード	科目名	担当教員名
981A1	**指導法特論（国語）**	**古　川　元　視**

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
＜専門科目＞	専攻科　初等教育専攻	１年次	前期	2

授業概要

小学校国語科の「読むこと」「書くこと」「話すこと･聞くこと」の教材分析を行い，模擬授業や模擬授業の振り返りをすることで，国語科の授業の指導法を学ぶ。その際に，ICTを活用した授業をつくる。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	説明文の教材分析とタブレットを活用した学習指導案を作成し，模擬授業と振り返りを行うことができる。		○				
2	書くことの教材分析とタブレットを活用した本事案を作成し，模擬授業と振り返りを行うことができる。			○			
3	話すこと・聞くことの教材分析とタブレットを活用した本事案を作成し，模擬授業と振り返りを行うことができる。						○
4							
5							

授業計画

No.	授業内容	授業時間外学習の内容と時間
1	説明文の学習指導案を分析して，学習指導案の書き方を確認する。 （アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	復習：説明文の学習指導案の分析をする。（１ｈ）
2	説明文の学習指導案の書き方を確認する。 （アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	予習：説明文の教材分析をする。（２ｈ）
3	説明文の教材分析をする。 （アクティブ・ラーニング：グループディスカッション，反転授業）	予習：説明文の並行読書の本を探す。（１ｈ）
4	説明文の並行読書の本を探す。 （アクティブ・ラーニング：グループディスカッション，反転授業）	復習：並行読書の本を決定。（１ｈ）
5	説明文の並行読書を決定する。 （アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	予習：タブレットを活用した説明文の学習指導案の授業過程までを書く。（２ｈ）
6	タブレットを活用した説明文の学習指導案の授業過程までを書く。 （アクティブ・ラーニング：グループディスカッション，反転授業）	復習：タブレットを活用した説明文の学習指導案の授業過程までを完成する。（１ｈ）
7	タブレットを活用した説明文の学習指導案の授業過程までを協議して，修正する。（アクティブ･ラーニング：グループディスカッション）	予習：タブレットを活用した説明文の学習指導案の本事案を書く。（２ｈ）
8	タブレットを活用した説明文の学習指導案の本事案を協議して，修正する。（アクティブ･ラーニング：グループディスカッション，反転授業）	復習：タブレットを活用した説明文の学習指導案の本事案を完成する。（１ｈ）
9	タブレットを活用した説明文の学習指導案の本事案の発問を考える。 （アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	復習：本事案の発問を修正する。（１ｈ）
10	タブレットを活用した説明文の学習指導案の発問を完成する。 （アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	復習：模擬授業の練習をする。（１ｈ）
11	タブレットを活用した説明文の模擬授業の練習をする。 （アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	復習：模擬授業の練習をする。（１ｈ）
12	タブレットを活用した説明文の模擬授業と振り返りをする。 （アクティブ・ラーニング：グループディスカッション，反転授業）	予習：タブレットを活用した「書くこと」または「話すこと・聞くこと」の本事案を作成する。（２ｈ）
13	タブレットを活用した「書くこと」の模擬授業と振り返りをする。 （アクティブ・ラーニング：グループディスカッション，反転授業）	予習：タブレットを活用した「話すこと・聞くこと」の模擬授業の練習をする。（１ｈ）
14	タブレットを活用した「話すこと・聞くこと」の模擬授業と振り返りをする。 （アクティブ・ラーニング：グループディスカッション，反転授業）	予習：今までの学修を振り返り，身に付いた力を書く。（１ｈ）
15	今までの学修を振り返り，身に付いた力を確認する。 （アクティブ・ラーニング：グループディスカッション）	復習：書いた学習指導案などを整理する。（１ｈ）

履修条件や関連する科目等

国語科指導法

教科書（テキスト）

・小学校学習指導要領（平成29年度告示）文部科学省，217円+税
・小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 国語編（文部科学省：東洋館出版社）平成30年，162円+税
・読書活動でアクティブに読む力を育てる!小学校国語科言語活動アイデア＆ワーク（井上一郎編/古川元視著：明治図書），2015年，2,260円+税
・国語科教育の基礎・基本 教え方・学び方 ポイント＆シート １読むこと（井上一郎著：明治図書）2021年，2,360円+税

参考書（授業資料）

・アクティブ・ラーニングをサポートする!学校図書館活用プロジェクト掲示ポスター＆ポイントシート事典（井上一郎編著/古川元視著：明治図書），2017年，2,860円+税
・読解力を育てる!小学校国語 定番教材の発問モデル 物語編/説明文編（井上一郎編著：明治図書），2015年，2,460円+税
・誰もがつけたい説明力（井上一郎著：明治図書）2005年，2,160円+税
・アクティブ・ラーニングをサポートする!小学校教室掲示ポスター＆言語能力アップシート事典（井上一郎編著：明治図書）2017年，2,900円+税
・小学校国語「汎用的能力」を高める!アクティブ・ラーニングサポートワーク（井上一郎編著：明治図書）2015年，2,700円+税
・国語科教育の基礎・基本 教え方・学び方 ポイント＆シート ２話すこと・聞くこと/書くこと（井上一郎著：明治図書）2021年，2,400円+税

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題･レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１			15%	15%	10%	
到達目標２			10%	10%	10%	
到達目標３			10%	10%	10%	
到達目標４						
到達目標５						

評価基準等

学習相談及び学習成果のフィードバック

・授業相談はオフィスアワー（詳細には後日連絡する）で受ける。(24号館５階509研究室)
・課題，レポートは授業の中で返却する。

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

小学校免許：幼稚園免許「教科に関する科目」

その他

学生へのメッセージ

・国語科はすべての教科の基盤となる重要な教科であり，育成すべき言語能力をよく理解するとともに，自らもその言語能力を習得するように努めること。
・教育現場で国語の授業を行ったり，指導したりしてきたことを活かし，授業では具体的な事例を交えて講義をする。
・授業中の私語，飲食，携帯メール等は一切認めない。
・欠席は必ず連絡すること。
・提出物や資料等は必ず提出して保管すること。
・遠隔授業の能性がある。
・ノートパソコンは，ロイロノートで使用するので，持ってくること。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ

SUP-3-09-030

科目コード	科　　目　　名	担　当　教　員　名
981C1	**指導法特論（算数）**	三　宮　知　恭

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
＜専門科目＞	専攻科　初等教育専攻	１年次	前期	2

授業概要

算数科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された算数科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法や構成力、授業を行う実践力を身に付ける。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	学習指導要領に示された算数科の目標や内容を理解する。		○	○			
2	基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計及び授業実践を行う方法を身に付ける。				○		
3	授業の構成や実践力をつけるために先行実践を調べ、模倣しながら体得していくことができる。						○
4	自分の考えた指導案を音声・動き・板書など含めて、表現できる。					○	
5							

授業計画

No.	授　業　内　容	授業時間外学習の内容と時間
1	算数科学習指導要領の変遷の歴史、目標及び内容について理解する。ICT機器活用の一環として「ロイロノート」の活用方法を理解し、ログインできるようになる	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
2	大分スタンダードの授業作りと学習指導案（本時案）の作成の仕方	テキストやプリントを熟読する（0.5h）
3	算数科（A領域：例　低学年）目標及び内容の理解、教科書研究	テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し
4	算数科（A領域：例　低学年）学習指導案作成、板書計画、教材教具・ワークシート等の作成	テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し
5	算数科（A領域：例　低学年）教材作成等準備、模擬授業、模擬授業の評価	指導案作成,教具等の準備（1h） 板書指導案の作成・見直し
6	算数科（B領域：例　高学年）目標及び内容の理解、教科書研究	テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し
7	算数科（B領域：例　高学年）学習指導案作成、板書計画、教材教具・ワークシート等の作成	テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し
8	算数科（B領域：例　高学年）教材作成等準備、模擬授業、模擬授業の評価	指導案作成,教具等の準備（1h） 板書指導案の作成・見直し
9	算数科（C領域：例　中学年）目標及び内容の理解、教科書研究	テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し
10	算数科（C領域：例　中学年）学習指導案作成、板書計画、教材教具・ワークシート等の作成	テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し
11	算数科（C領域：例　中学年）教材作成等準備、模擬授業、模擬授業の評価	指導案作成,教具等の準備（1h） 板書指導案の作成・見直し
12	算数科（D領域：例　高学年）目標及び内容の理解、教科書研究	テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し
13	算数科（D領域：例　高学年）学習指導案作成、板書計画、教材教具・ワークシート等の作成	テキストやプリントを熟読する（0.5h） 板書指導案の作成・見直し
14	算数科（D領域：例　高学年）教材作成等準備、模擬授業、模擬授業の評価	指導案作成,教具等の準備（1h）
15	まとめ・模擬授業の改善案作成	これまでのテキストやプリントを熟読する（0.5h） 学習指導案の修正

履修条件や関連する科目等

特になし

教科書（テキスト）

小学校学習指導要領解説 算数編（平成29年７月 文部科学省）
小学校算数教科書（啓林館）全学年全巻を購入しておく方が望ましい。

参考書（授業資料）

必要に応じて印刷または情報提供する

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題・レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１			20%		5%	
到達目標２			20%		5%	
到達目標３			20%			
到達目標４			20%	10%		
到達目標５						

評価基準等

毎時間の授業での「板書計画案」の作成や、模擬授業の相互評価の得点を積み上げていく。
・学修の到達度に応じて、ＡＡ（９０～１００点）、Ａ（８０～８９点）、Ｂ（７０～７９点）、Ｃ（６０～６９点）、Ｆ（５９点以下）で評価する。なお、授業に取り組む姿勢や試験結果によっては、再試を行うこともある。

学習相談及び学習成果のフィードバック

・オフィスアワー
・授業時間後随時
・作成提出した「板書計画案」については、次の時間に利用して、全員でその計画案で授業を行ったり、修正案を考える。
・学期に１つの単元の「学習指導案」を作成する。実習にむけて、全員で共有する。

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）

学生へのメッセージその他

・長年にわたる教育現場における様々な経験を活かし、算数科における教育目標、授業計画等について講義を行います。
・自分が小学校や幼稚園の教諭になったときのことをイメージして積極的に授業に臨むこと。
・遠隔授業になる場合もあります。その場合は、「オンデマンド授業」として、moodle上に読み物や動画の学修資料を用意し、それに対する課題シートに解答・回答し、提出することになります。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ

SUP-3-11-030

科目コード	科　　目　　名	担　当　教　員　名
98211	**言葉と児童文化**	**渡　邉　輝　美**

科目区分	対象学科	対象学年	開講期間	単位数
＜専門科目＞	専攻科　初等教育専攻	１年次	前期	2

授業概要

幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現す る過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。本授業における「児童文化」とは、子どもをとりまく「環境」そのものであり、子どもの生活の中心である「遊び」そのものであると考える 。その中でも「言葉」との関連が深くかつ乳幼児の教育・保育現場で用いられることが多い「児童文化財」で ある絵本、ペープサート、紙芝居や玩具・遊具、そして伝承遊びを取り上げ、実際の教育・保育実践の中での活 用について考察していく。視聴覚教材や教育・保育現場での観察など体験的な学びの機会を設けて、教育・保育現場での実践に生かせることを目指す。

到達目標

No.	到達目標	教養 ※教養科目	専門力 ※専門科目	汎用力 思考力	汎用力 実行力	汎用力 表現力	汎用力 情報力
1	幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容を理解することができる。		○				
2	幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付けている。			○			
3	領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、児童文化財を生かした指導案を作成して、模擬保育を実 践することができる。				○		
4							
5							

授業計画

No.	授　業　内　容	授業時間外学習の内容と時間
1	幼稚園教育要領における領域「言葉」	予習　：　教科書の熟読　（30分）
2	領域「言葉」における児童文化とは何か	予習　：　教科書の熟読　（30分）
3	子どもにとっての遊びとその伝承性	予習　：　教科書の熟読　（30分）
4	保育の歴史と児童文化	予習　：　教科書の熟読　（30分）
5	家庭や集団保育における児童文化財の活用	予習　：　教科書の熟読　（30分）
6	子どもの発達と児童文化財	児童文化財の練習　（１時間）
7	保育実践の評価と記録	児童文化財の練習　（１時間）
8	児童文化財の保育への展開～絵本・紙芝居	児童文化財の練習　（１時間）
9	児童文化財の保育への展開～ペープサート・エプロンシアター	児童文化財の練習　（１時間）
10	児童文化財の保育への展開～ ICTの活用	児童文化財発表の練習　（１時間）
11	児童文化財の保育への展開～指導案作成	児童文化財発表の練習　（１時間）
12	児童文化財の保育への展開～模擬保育①発表	児童文化財発表の練習　（１時間）
13	児童文化財の保育への展開～模擬保育②発表	児童文化財発表の練習　（１時間）
14	児童文化財の保育への展開～模擬保育③発表の振返り・評価	小テスト勉強　（３時間）
15	教科のまとめ　小テスト ＜Moodle画面によるオンデマンド授業実施も有（１～15回）＞	期末レポートの作成　（３時間）

履修条件や関連する科目等

初等教育科１年次「保育内容Ⅳ」を履修しておくことが望ましい。

教科書（テキスト）

・ことばと表現力を育む児童文化（萌文書林：2,000円）
・幼稚園教育要領（平成29年３月 文部科学省）

参考書（授業資料）

・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年３月告示 内閣府 文部科学省 厚生労働省）
・保育所保育指針（平成29年３月告示 厚生労働省）
・保育における子ども文化（わかば社）
・演習児童文化-保育内容としての実践と展開（萌文書林）
・児童文化と保育-こころ豊かな文化を育むために（宮帯出版社）
・保育に役立つ言語表現教材（未来：1,900円）

評価方法

到達目標毎の評価方法	期末試験	小テスト	課題･レポート	発　表	授業の取組み姿勢	その他
到達目標１		50%	5%		10%	
到達目標２			5%	10%	10%	
到達目標３				10%		
到達目標４						
到達目標５						

評価基準等

小テスト：５０％　模擬保育：２０％　指導案作成：１０％　授業態度・提出物：２０％

学習相談及び学習成果のフィードバック

・オフィスアワー時に研究室にて学習相談の対応をします。
・成績発表時にレポートを返却します。
・児童文化財の発表については、「ペープサート」または「エプロンシアター」などから題材を一つ選び、模擬保育の形で発表してもらいます。

法令等に定められた授業科目に含める必要事項

幼稚園免許選択：教職に関する科目「教育課程及び指導法に関する科目」「保育内容指導法」

学生へのメッセージ その他

絵本、ペープサート、紙芝居や玩具・遊具、そして伝承遊びなど、実際の教育・保育実践の中での「児童文化財」を活用できる力をつけましょう。環境の一つである「児童文化財」を通して、子どもの豊かな育ちが促される保育を目指して実践力をつけましょう。教材研究の方法・読み聞かせなどの技術、また教材の制作方法など、保育現場ですぐに役に立つ授業です。たくさん学びましょう。

長年にわたり幼稚園に勤務した経験を活かし、保育現場で役に立つ「子ども理解」「年齢に適した発達を促す援助や環境構成」「子どもの興味や意欲を高める保育技術」について､実際の場面や姿をもとに学んでいきます。保育に活かせる学習をしましょう。この授業科目は、新型コロナウイルスの感染状況によっては遠隔授業で実施します。

ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ

ECE-4-04-030